

# とびら



No.97

(令和元年6月議会を掲載)

特集

## 議会新構成決まる

— CONTENTS —

特集 議会新構成決まる 2・3ページ

臨時会・定例会の概要 …… 4 ～ 5

委員会の活動 …… 6 ～ 8

ここが知りたい！一般質問 …… 9 ～ 17

きかせて！あなたの夢 …… 18



次号の「とびら」は、  
令和元年11月1日発行予定です

いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ



# スタート!

5月15日に開催された、令和元年第1回臨時会で、議長・副議長、委員会などの構成が決まりました。

## 思いを一つに

市議の思いを一つにまとめ、議会として執行部や市民に投げかけていきたいと考えております。

そのためにも、議員間討議や政策検討協議会を活用し、議会の機能強化を図ってまいります。

ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



議長  
篠塚 洋三



副議長  
山口 哲秀

## 議会改革を進める

この度、議員の皆様のご推挙により、鹿嶋市議会副議長に就任いたしました。

議会改革を進め、市民に開かれた議会にするべく、議長を補佐し、専心努力する所存でございます。

ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 総務生活委員会

政策企画部、総務部、市民生活部、出納室、監査委員事務局に関すること、また、他の委員会が担当しないことを審査・調査します。



副委員長 菅谷 毅



委員長 小松崎 敏紀



委員 笹沼 康弘



委員 川井 宏子



委員 佐藤 信成



委員 篠塚 洋三



委員 内田 政文

## 文教厚生委員会

健康福祉部と教育委員会に関することを審査・調査します。



副委員長 樋口 富士男



委員長 河津 亨



委員 舛井 明宏



委員 小池 みよ子



委員 立原 弘一



委員 池田 芳範



委員 根崎 彰

# 新たな議会構成で

## 都市経済委員会

経済振興部、都市整備部、農業委員会に関することを審査・調査します。



副委員長 栗林 京子



委員長 宇田 一男



委員 山口 哲秀



委員 坂本 仙一



委員 田口 茂



委員 飯塚 俊雄

## 予算決算常任委員会

委員長	小池 みよ子
副委員長	栗林 京子

※委員は、議長を除く全議員です

## 鹿嶋市監査委員

内田 政文
-------

## 広報広聴委員会

委員長	小池 みよ子
副委員長	樋口 富士男
委員	菅谷 毅
	川井 宏子
	小松崎 敏紀
	笹沼 康弘
	舛井 明宏

## 議会運営委員会

委員長	根崎 彰
副委員長	坂本 仙一
委員	立原 弘一
	河津 亨
	小池 みよ子
	宇田 一男
	栗林 京子
	樋口 富士男
小松崎 敏紀	

## 茨城県後期高齢者医療広域連合議会

議員	坂本 仙一
----	-------

## 鹿島地方事務組合議会

議員	飯塚 俊雄
	根崎 彰
	河津 亨
	小池 みよ子
	宇田 一男

## 鹿行広域事務組合議会

議員	佐藤 信成
	栗林 京子
	樋口 富士男

## 鹿島臨海工業地帯開発協議会委員

議長	篠塚 洋三
議員	池田 芳範
	田口 茂

# 5月・6月の議会でこんなことが決まりました

## 5月臨時会

5月15日、令和元年第1回臨時会が開催され、市長から3件の議案が提出されました。議決結果は次のとおりです。

議案番号	議案名	結果
市長から提出された議案		
報告第1号	専決処分（鹿嶋市税条例等の一部を改正する条例）	原案承認
報告第2号	専決処分（鹿嶋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	原案承認
報告第3号	専決処分（鹿嶋市介護保険条例の一部を改正する条例）	原案承認

## 6月定例会

6月6日～21日の16日間、令和元年第2回定例会が開催され、市長から7件、議長から1件の議案が提出されました。議決結果は次のとおりです。

議案番号	議案名	結果
市長から提出された議案		
議案第33号	令和元年度鹿嶋市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第34号	鹿嶋市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第35号	鹿嶋市立幼稚園の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第36号	鹿嶋市保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第37号	鹿嶋市監査委員の選任について	原案同意
議案第38号	鹿島地方事務組合理約の変更について	原案可決
議案第39号	損害賠償の額を定め、和解することについて	原案可決
議長が提出した議案		
議長発議	東京2020オリンピック推進調査特別委員会の設置について	原案可決

## ～議会の用語はわかりにくい～

### 専決処分とは？

議会が議決しなければいけないことを、地方自治法に基づいて、市長が議会にかわって意思決定することを“専決処分”といいます。時間的に議会を開くことができない緊急の場合などに“専決処分”を行えることとなっていますが、その後、議会に報告し承認を求める必要があります。

### 原案可決(否決)とは？

原案可決とは「提出された案で良いという決定をした」という意味で、そのほかに、認定・承認・同意・適任などがあり、議案の内容によって使い分けます。



# 6月 定例会

## 可燃性一般廃棄物処理施設を 鹿島地方事務組合が新規建設へ

### 主な議案内容

■議案第33号 令和元年度鹿嶋市一般会計補正予算(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ6億6432万8000円を追加し、総額241億2032万8000円となりました。

主な内容は、プレミアム付商品券事業、老人福祉施設助成事業、未婚世帯の臨時給付金事業、鹿島地方事務組合負担金による一般廃棄物広域処理事業、カシマスポートセンター大規模改造工事費などです。

### 反対討論 川井宏子 議員

一般廃棄物広域処理事業については、受け入れ施設の拡大によって、2017年に補助金が不交付となった民間業者からの持ち込みによるごみの増加が懸念され、また、焼却型とすることで環境汚染などの懸念が

発生する。さらには、市民生活の根幹にかかわるごみに関する諸問題を、鹿島地方事務組合だけの議論にするべきではなく、廃棄物処理は鹿嶋市独自の事務にしていくべきであると考えます。

プレミアム付商品券については、消費税増税に対する一時しのぎの対策であり、消費税増税は貧困と格差を広げるものであり、市は国に対し、消費税増税の中止を求めていくことを強く要望していくべきである。以上2点により反対とする。

■議案第35号 鹿嶋市立幼稚園の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例

■議案第36号 鹿嶋市保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、消費税率が引き上げられる令和元年10月1日から幼児教育・保育の無償

化を実施するため、市の条例の一部を改正するものです。



■議案第38号 鹿島地方事務組合規約の変更について

鹿嶋市及び神栖市における可燃性一般廃棄物の広域処理に関し、当該廃棄物の処理施設の建設を鹿島地方事務組合が行うため、組合規約の一部を改正するものです。

### 議員賛否一覧表

賛成=○、反対=×、棄権=△、欠席=-

※篠塚洋三議長は、採決に加わりません。

賛否が分かれた議案と議員(会派)の賛否結果	未来かしま								公明かしま		日本共産党		幹会			無所属			
	飯塚俊雄	内田政文	根崎彰	池田芳範	坂本仙一	小池みよ子	栗林京子	小松崎敏紀	笹沼康弘	山口哲秀	樋口富士男	立原弘一	川井宏子	宇田一男	菅谷毅	舛井明宏	田口茂	河津亨	佐藤信成
議案第33号 令和元年度鹿嶋市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第38号 鹿島地方事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○

## 総務生活委員会

### 可燃性一般廃棄物処理施設の建設を鹿嶋地方事務組合が行うための議案を可決

総務生活委員会では、2件の議案を審査しました。

#### 主な質疑

■議案第38号 鹿嶋地方事務組合規約の改正について

鹿嶋市及び神栖市における可燃性一般廃棄物の広域処理に關し、当該廃棄物の処理施設の建設を鹿嶋地方事務組合が行うため、組合規約の一部を改正するもの。

センター地内への新設を検討している。鹿嶋市民が不便にならないよう努めていく。

問 処理方式の違いによるランニングコストの差はどの程度あるのか。

答 ごみ1トン当たり、現在のRDF化方式が2万数千円、一方、焼却方式が全国平均で1万数千円であることから、コストを抑えられ

ると考えている。

#### 【反対討論】

建設に当たり広く住民に意見を聞くべきであり、ごみ出し困難者への対策やごみ減量化対策を強化すべき。施設の集約化に伴う施設規模拡大とリスク増加の懸念もある。

採決の結果、議案第34号は全員賛成で、議案第38号は賛成多数で原案のとおり可決すべきであると決定しました。

問 処理施設が神栖市に建設される予定とのこと、これまで市内の施設へ搬入していた市民が距離的にも遠くまで運ばなければならず、不法投棄や地区外の集積所へのごみの持ち込みが懸念される。それらの対策を伺う。

答 神栖市と協議中であるが、中継施設について現在の広域鹿嶋RDFセンター建屋の活用、または衛生

### 幼児教育・保育の無償化を実施するための議案を可決

文教厚生委員会では、3件の議案を審査しました。なお審査に先立ち、カシマスポーツセンターの現地調査を行いました。

#### 主な質疑

■議案第35号 鹿嶋市立幼稚園の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例

■議案第36号 鹿嶋市保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例  
消費税率が引き上げられる令和元年10月1日から、幼児教育・保育の無償化を実施するため改正するもの。

問 幼稚園及び保育所での給食の副食の保護者負担についてはどうなるのか。

答 副食費免除の対象が、年収360万円未満相当世帯及び第3子以降に拡充される。



スポーツセンターを調査する文教厚生委員会

問 新たに、低所得世帯の主食費・副食費の負担が増えるということはないのか。

答 今まで払っていた主食費と副食費の負担が減る改正であり、負担が増えるものではない。

#### 【賛成討論】

幼稚園、保育所は公立で全て実施すべき。消費税増税を前提としなくとも、幼児教育無償化は進めていくべき。

採決の結果、全ての議案について全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。

## 文教厚生委員会

## 閉会中に「観光振興」及び「公共施設等の長寿命化」の調査を実施

都市経済委員会に付託された議案はありませんでした。委員会では、閉会中の継続調査事項について、今後国体やオリンピックを控える鹿嶋市の観光振興について、公共施設の長寿命化計画についての調査研究を行うことを決定しました。

### 【閉会中の継続調査】

委員会の活動は、原則として会期中に限定されていますが、議長に申し出て議決を得ることで、閉会中でも調査研究を行うことができますようになります。この調査は委員会の自主的な活動です。



鹿嶋市観光振興基本計画 (右)と鹿嶋市公共施設等総合管理計画 (左)

## 予 算 決 算 常 任 委 員 会

## 焼却施設・プレミアム付商品券等の予算を審査

予算決算常任委員会では、1件の補正予算を審査しました。

### 主な質疑

■議案第33号 令和元年度鹿嶋市一般会計補正予算(第1号)

**問** 神栖市にごみ処理施設を整備し、鹿嶋のRDFは改造し中継施設とする

このことだが、過大な施設となる可能性が大きく、無駄が増える上にリスク分散もできていないと思われるが、どうか。

**答** 鹿嶋・神栖のごみ発生量と災害時のごみ発生量を勘案し、円滑な処理に必要な量を選定している。中継施設については、ごみを圧縮して運搬するための経路施設なので、燃料・光熱費はそれほどかからない。

### 【賛成討論】

含水率低下の取り組みやごみ分別の徹底等十分な議論を。

### 【反対討論】

地球環境を考え、市独自で小さな施設をつくり、不足分は減量化で対応するべき。

**問** 今回のプレミアム付商品券事業の目的は。

**答** 10月に予定されている消費税率の10%への引き上げによる、低所得者・子育て世帯の消費に与える影響の緩和、地域における消費を喚起することが目的。

### 【賛成討論】

広く対象者に行き渡るよう対策を講じるべき。

### 【反対討論】

消費税増税を前提とした政策であり反対。

採決の結果、賛成多数をもって、原案のとおり可決すべきと決定しました。

# 東京2020オリンピック推進調査特別委員会 が設置されました！

6月定例会において、東京2020オリンピックサッカー競技の本市開催を成功に導くため、本市が取り組む準備・運営に関することなどの調査研究を行う特別委員会が設置されました。



委員長	河津 亨
副委員長	栗林 京子
委員	飯塚 俊雄
	内田 政文
	根崎 彰
	池田 芳範
	田口 茂
	坂本 仙一
	立原 弘一
	小池 みよ子
	宇田 一男
	佐藤 信成
	樋口 富士男
菅谷 毅	
川井 宏子	
小松崎 敏紀	
笹沼 康弘	
舛井 明宏	
オブザーバー	篠塚 洋三（議長）
	山口 哲秀（副議長）

## 議員表彰並びに感謝状の贈呈

永年にわたり地方自治の発展と市政の振興に貢献した功績によりそれぞれ表彰を受けました。

### 全国市議会議長会並びに茨城県市議会議長会表彰

**議員在職25年以上** 内田 政文議員・根崎 彰議員

**議員在職20年以上** 池田 芳範議員・田口 茂議員・坂本 仙一議員・立原 弘一議員

**議長在職4年以上** 池田 芳範議員

### 茨城県市議会議長会表彰

**議員在職8年以上** 宇田 一男議員

池田 芳範議員は、全国市議会議長会から同団体の評議員としての功績を称えられ、また茨城県市議会議長会からは前議長として、それぞれ感謝状が贈呈されました。



# 一般質問



このQRコードまたは各議員の顔写真下のQRコードから一般質問の映像がご覧いただけます。

一般質問は、私たちの生活にかかわりの深い事柄について質問するものです。掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「インターネット中継」または「録音中継」をご利用ください。



くりばやし きょうこ  
**栗林 京子** 議員  
〔発言時間＝60分〕

## Q 公共用地の借地について

**栗林**

市は借地を継続すること  
で借地料がかさみ、各種  
事業を実施する上で、その借地料  
が負担となり、事業がしりすぼみ  
になってしまわないかと懸念して  
いる。市としての用地買収に対す  
る考えを伺う。

**A 買収による用地確保が第一**

**市長**

公共用地の取得について  
は、買収によって取得す  
ることを原則としている。今後も  
買収による用地確保を第一としつ  
つ、買収の提案を受け入れていた  
だけない場合は、代替地の活用等  
も視野に入れながら、できる限り  
公有地化していく。

## Q 市道の活用について

**栗林**

市道5001及び500  
2号線は、鹿島神宮境内  
にあり長い歴史とともに生育した  
大きな銘木がある。それらの市道  
を観光小道として整備してはいか  
が。あわせて、市道を活用した観  
光の推進について市の考えを伺う。

**A 鹿島神宮周辺の回遊性を高  
めよう**

**経済振  
興部長**

鹿島神宮樹叢は天然記念  
物に指定されており、保  
存とのバランスを考慮しながら活  
用していきたいと考えている。既  
存の市道を活用した観光推進につ  
いては、現在策定が進められてい  
る中心市街地活性化基本計画にお  
いて、まち歩き回遊動線を定める  
とともに、回遊性を高める門前町  
地内道路改良事業等も予定してい  
る。

## Q 国体及びオリンピック時 の救急医療対策について

**栗林**

国体及び東京2020オ  
リンピック開催時の救急  
医療対策について、進捗状況を伺う。

**A 粛々と準備を進めている**

**教育  
部長**

国体における救急医療対  
策については、二次救急  
医療機関に対し、既に鹿嶋・潮来・  
神栖の3市で協力要請を行い、ご  
理解をいただいている。

**政策企  
画部長**

オリンピック開催に係る  
鹿島地方事務組合消防本部におい  
て、大会期間中、会場内外を問わ  
ず十分な対応ができるよう準備を  
進めている。

## Q 大型連休中の市民サービスは

**栗林**

5月の大型連休期間中、  
何度かごみの回収業務が  
されなかったが、こういった大型  
連休の際にも通常どおりの回収業  
務はできないか。

**A 現状の収集体制を維持**

**市民生  
活部長**

大型連休中は、収集作業  
従事者の休日の確保等の  
理由により、収集休止日を設けて  
いる。当面は現状の収集体制を維  
持しつつ、将来的な検討課題の一  
つとして今後も情報収集に努める。

# ここが知りたい！ 一般質問



こいけ 小池 みよ子 議員  
〔発言時間＝60分〕



## Q 可燃性一般廃棄物処理施設の建設について

**小池**

近い将来寿命を迎える鹿嶋RDFセンターにかわり、鹿嶋・神栖の2市で計画している可燃性一般廃棄物処理施設について、その建設場所と完成予定時期、処理方法、建設に係る予算を伺う。また、家庭用一般ごみの持ち込みについては配慮しているのか伺う。

## A 市民の利便性は確保する

**廃棄物処理施設建設担当参事**

建設場所は神栖市東和田21番地3の一部で、令和5年度内の稼働を目指していく。処理対象物は可燃性一般廃棄物、し尿等の汚泥、災害廃棄物等を想定し、その処理方式は、安全で安定した処理方法、処理技術の確立、ダイオキシン類の国の

法律による対策強化等を考慮して、ストーカ炉による処理方式を計画している。計画予算については、調査費を含め、総額218億円としている。家庭用一般ごみの持ち込みについては神栖市と協議中であるが、現在のRDFセンターを中継施設として活用することで、市民のごみ搬入の利便性は確保されると考えている。

## Q ごみ捨て困難世帯への対策を問う

**小池**

環境省が自治体のごみ出し支援制度拡充の方針を打ち出している中、ごみ捨て困難世帯への市としての考えを伺う。

## A 最適な方策を検討する

**市民生活部長**

地域コミュニティにおける共助による地域支援体制の育成と確立を優先しつつ、国の事業として予定している高齢化社会に対応したごみ処理システムの構築に関する検討状況や、市の包括的な生活支援体制の定着状況等を見きわめながら、引き続き福祉部門と連携し、最適な方策について検討していく。

## Q 待機児童が今年も解消されていない

**小池**

今年も解消されなかった保育園の待機児童問題について、待機児童は現在何人で、原因と対策を伺う。

## A 保育士の確保が課題

**教育部長**

待機児童の問題について、4月1日時点で3名の待機児童が発生している状況。原因としては、既存の施設において保育士の確保ができず、計画していた児童数を受け入れできずに縮小する事業所があったためである。今後の対策は、保育ニーズを適正に見込み、余裕を持って対応できる受け皿を確保するための施設整備とともに、茨城保育人材バンクとの連携を図るなど、保育を支える人材を安定的に確保するための仕組みづくりを並行して進める必要があると考える。

【こんな質問もありました】

①ごみ減量化に向けた取り組み

②幼児教育無償化に伴う課題点

③県立中高一貫校の目的等について

**Q** 原発再稼働反対、廃炉の表明を

**川井**

東日本大震災による福島第一原発事故が起きて8年が経ち、現在もなお4万人を超える住民が避難生活を余儀なくされている。そんな中、「東海第二原発事故を想定した30km圏内の避難計画は実現できない」と答えている自治体が6割となっている。市民の生活、財産、命を守る観点から考えて、市長には東海第二原発の再稼働に反対し、廃炉の表明を求めるがいかか。

**A** 国などの協議結果を考慮した上で判断すべき

**市長**

東海第二原発の再稼働については、現在茨城県及



かわい ひろこ  
川井 宏子 議員

〔発言時間＝90分〕

び周辺の6自治体、そして他の30km圏内の自治体の動向を注視すべき段階であると考えている。廃炉についても、国のエネルギー政策や関係自治体の協議結果を考慮した上で判断すべき問題であることから、私個人の明確な意見や態度の決定は差し控える。

**Q** 自衛隊への18歳名簿の提出について

**川井**

18歳名簿の提出は、個人情報保護法の観点や戦争する国づくりの狙いから看過できない大問題である。強く中止を求めるが、市は続けていくのか。

**A** 適法な事務であり、問題ない

**市長**

18歳名簿の提出については、自衛隊法第97条の規定に基づく法定受託事務である自衛官募集事務の一部として、国防や災害救助といった国民の生命と財産を守る重要な任務を担う人材を確保するために実施している。法令に照らし合わせ、適法であり、問題ない。今後も、自衛官募集事

務の一部として、国・県からの協力要請に基づき、自衛隊への情報提供を行っていく。

**Q** 給食費の無償化について

**川井**

学校給食は教育の一環と見做す。県内でも地方行政が予算を捻出している中、市として国や県に対し無償化の要求をしていく必要があると考えているがいかか。

**A** 要望は考えていない

**教育  
部長**

国や県が給食費の全額を負担することは考えにくく、市の費用負担が発生することを念頭において考える必要がある。現段階において、国や県へ積極的

【こんな質問もありました】

① 無料低額診療について

② 幼稚園・保育園の入園手続きについて

③ 通学路の安全性について

# ここが知りたい！ 一般質問



うだ かずお  
宇田 一男 議員

[発言時間 = 60分]



## Q 鹿嶋の歴史伝承・公開について

**宇田** 情報のデジタル化等により、歴史館はその役割が進められている。鹿嶋市では、地域歴史資料を「鹿嶋デジタル博物館」で公開しているが、その目的と目標について伺う。

**A** 将来的には、デジタルアーカイブによる保存・活用も必要

### 教育長

郷土の歴史や文化財に興味を持ってもらうために公開しており、それらの周知・宣伝を目的としている。郷土を語れる人材育成のための博物館機能を有する施設は必要であり、デジタ

ルアーカイブの導入については今後検討していきたい。

## Q 多言語化の対応は

**宇田** 鹿嶋市では、歴史をもとに国内外の来訪者を呼び込み地域の活性化を図ろうと考えている。オリンピックについても来年に控えている中、情報提供等の多言語化の対応について市の見解を伺う。あわせて、「鹿嶋デジタル博物館」の今後の多言語化対応についても伺う。

**A** 市公式ホームページの全面リニューアルで対応する

### 政策企画部長

来年3月の公開に向けて市公式ホームページの全面リニューアルを行っている。その中で多言語対応の充実も図っていく。

### 教育部長

「鹿嶋デジタル博物館」については専門的な用語が多いため、すぐに対応できるものではない。コンテンツの内容も、対象を検討し英語表記などを進めたい。

## Q 中心市街地活性化策について伺う

**宇田** 「まちづくり鹿嶋株式会社」が平成30年4月からスタートしており、空き店舗のマッチング事業等に取り組んでいると聞くが、その現況について伺う。また、民間の知見や資金を活用した官民連携の地域ファンド（総称・ソーシャルインパクトボンド）の導入を提言するが、市の見解を伺う。

**A** 店舗等の立地誘導に向けた事業を行っている

### 地域活性化担当参事

店舗等の立地誘導に向けた取り組みとして、空き店舗等の遊休不動産の調査や活用の意向調査等を実施している。昨年度の新規出店者はいないが、出店に向けた調整が進められている。官民連携の地域ファンドについては、民間の自由な発想を活かした事業展開が可能であり、行政側にも公的サービスを安価に提供できる利点もあることから、今後調査研究をしていきたい。

**Q** 会計年度任用職員制度整備の進捗状況は

**菅谷**

早急に条例化が必要な会計年度任用職員制度整備の進捗状況を伺う。また、職員全体の働き方改革に資する制度設計とすべきと考えるが方針を伺う。

**A** 9月議会に上程する

**総務部長**

現在、一般職の職員に係る給与条例や、勤務時間条例等を参考に、具体的な条例規定項目を洗い出し、当該制度の導入・運用を見据えた課題等の整理を進めている。会計年度任用職員の勤務条件等については、法改正や附帯決議の趣旨を踏まえた総務省通知等に基づき、常勤職員等とのバランスを考慮して適切に設定する。あわせて、時間外勤務の縮

減や休暇を取得しやすい環境等、職員の意識改革を図りながら職員全体の働き方改革を推進していく。

**Q** 鹿島神宮駅周辺のバリアフリー化について

**菅谷**

オリンピックに向けて鹿島神宮駅前広場のリニューアルにあわせてバリアフリー化や、駅舎内のエレベーター設置、スイカの導入、バリアフリー対応トイレの設置の要望が多い。改善の見通しと市の取り組み状況を伺う。

**A** 要望活動を継続する

**地域活性化担当参事**

駅前広場リニューアルにあわせて、駅南側の広場をバリアフリー化する予定。また、県道側のガード下に段差のない通路を整備し、南北の広場の往来がしやすくなるよう計画している。

**政策企画部長**

駅構内のバリアフリー化やスイカの導入について、これまでもJR東日本に対し要望しているが、現時点ではエレベーターの設置を含めたバリアフリー化は困難との回答を得ている。今後、国・自治体・鉄道事業者で整

備にかかるコストを応分負担する形でのバリアフリー化を目指すなど、いか検討していきたい。スイカの導入は、本社と協議を重ねているとの新たな回答があった。引き続き、要望活動を継続して実施していく。

**Q** 交通マナーの改善について

**菅谷**

オリンピックや国体をきっかけとして、交通安全のおもてなしをしてはどうか。歩行者や高齢者など、人に優しい譲り合いの運転マナーを指導する市民運動に取り組みないか提案するがいかがか。

**A** 市民活動の裾野を広げていく

**市民生活部長**

子どもや高齢者の安全な全利用の推進、飲酒運転やスピード違反の防止など、多くの民間事業所や市民がさまざまな活動を行っている。今後もこれらの活動に関する取り組みへの支援に努め、その活動を広く周知をしていくなど、悲惨な交通事故防止に向けた市民活動の裾野を広げていく。



すがや 菅谷 議員  
つよし 毅  
〔発言時間＝60分〕

# ここが知りたい！ 一般質問



さとう のぶなり  
佐藤 信成 議員

[発言時間= 90分]



## Q 歴史資料館について

**佐藤**

歴史資料館がなければ郷土教育はできないのか。

計画白紙の前後で計画はどう変わったのか。また、歴史資料館の建設に当たり、客数や経済効果のマーケティング調査は行ったのか。

## A 計画の大きな変更点はない

**教育長**

郷土教育については、歴史資料館がなければできないものではないが、なければならぬ施設と考える。

**地域活性化  
担当参事**

白紙となった前後での大きな変更点はない。マーケティング調査については、直接調査を実施していない。この施設は商業施設ではないので、調査の必要性はないと認識している。

**佐藤**

税金を何十億も使うが、市長が必要だと思っただらつくってしまうことではないか。

## Q デマンド型乗り合いタクシーは改善すべき

**佐藤**

現状、一人を運ぶのに投入している税金が3000円を超えている。初乗り助成券であれば1乗車当たり約700円の投入であった。助成券のときには年間約3万8000人の利用者であったが、デマンド型乗り合いタクシーの利用者見込みは約1万人。約2万8000人の減少が、交通弱者の方々が外出を我慢し移動できない見込みを出している。改善すべきと考えるがいかがか。

## A 必要な改善を図り、定着させていきたい

**政策企画部長**

利便性の向上、費用対効果について継続して考慮しなければならぬと考える。必要な改善を図り、利用者の皆様にとって、よりよい制度として定着させていけるよう努めていきたい。

## Q 制度開始からの子宝手当への課税額は

**佐藤**

子宝手当への課税問題を2年前に指摘したが、制度開始から現在に至るまで、私たちの納めた税金が、国と県に幾ら取られてしまったのか。また、そのことに対し、市長は市民に対してどのように考えているのか伺う。

## A 総額3867万円となっている

**健康福祉部長**

事業開始の平成27年分から平成30年分までの総額については、所得税2472万円、県民税1395万円、合わせて3867万円となっている。なお、今回課題も踏まえ、事業の大幅見直しを行ったところである。

**市長**

子宝手当が雑所得として課税されることは当初認識がなく、申し訳ないと思っている。

**Q** 危険なブロック塀対策について

**樋口** 危険なブロック塀対策に  
対して、新たな補助制度

が国土交通省により創設された。  
市はこの制度を最大限に活用した  
避難路沿道の危険なブロック塀の  
耐震診断、除去、回収を進めてい  
く計画があるのか伺う。

**A** 活用に向けた調査研究をし  
ていく

**都市整備部長** この補助制度は運用がス  
タートしたばかりであり、

避難路の計画の位置づけなど、補  
助要件を満たすには、市内部に限  
らず、関係機関との調整も必要と  
なってくるため、現段階において、  
補助制度の活用可否を表明できな

い。引き続き、補助制度の活用に  
向けた調査研究をしていく。

**Q** 液体ミルクの災害用備蓄は

**樋口** 国産の液体ミルクの製造  
販売がスタートした。全

国各自治体で乳児用液体ミルクを  
備蓄する動きがある。市において  
も、乳児用液体ミルクの災害用備  
蓄を早急に進めるべきだと考える  
がいかがか。

**A** 備蓄を開始している

**市民生活部長** 市では本年4月から、賞  
味期限が1年間の乳児用

液体ミルクを、災害時の基幹避難  
所となる中央公民館と大野公民館  
の2カ所に各24本ずつ備蓄を開始  
した。

**Q** いじめ通報システムにつ  
いて

**樋口** 最近の若年層の交流手段  
は、音声通話よりもSNS

Sの活用が圧倒的に多くなってい  
る。これを受け、いじめ対策や自  
殺防止に向けて長野県が実施した

SNSによる相談事業は、電話に  
よる年間の相談件数を2週間では  
るかに上回る1579件の相談件  
数だったとのこと。市として、L  
INEによる通報システムの導入  
を検討してはいかがか。また、茨  
城県においてこの夏に実施する実  
証実験を、市としても後押しすべ  
きではないか。

**A** 市単独での導入は困難

**教育部長** SNSを活用することで  
相談の選択肢が増えるこ

とは大いに期待できる。しかし、受  
付時間や受け入れ態勢等多くの課  
題があるため、一つの自治体での  
導入は困難であると考ええる。茨城  
県が行う実証実験の結果を見た上  
で、市としての対応を検討してい  
く。



ひぐち ふじお 議員  
樋口 富士男

〔発言時間＝60分〕

「こんな質問もありました」

「質教職員の長時間勤務について  
質食品ロス削減推進について」



# ここが知りたい！ 一般質問



こまつぎき としのり  
小松崎 敏紀 議員

[発言時間 = 60分]



## Q 観光による地域経済活性化の考えは

**小松崎** 市は、観光による地域経済活性化をどのくらいの規模で目指し、また、地域の未来をどのように考えているのか伺う。

**A** 観光入込客数を81万人増加させる

**市長** 市では今後、ビッグイベントを控えていることから、国内はもとより海外からの多くの観光客の来訪が予想され、これまで以上に観光施策を強力に押し進める時期である。将来の地域活性化に向け、鹿嶋市観光振興基本計画を策定した。

## Q 経済振興部長

計画における目標値として、観光入込客数を令和5年度までに330万人に引き上げることとして設定している。観光消費額を増やすことは、人口減少が見込まれる本市において重要な役割を担うため、今回策定した計画を推進し、にぎわいの創出を図りながら地域活力の向上に努めていく。

## Q 観光の課題解決に向けて

**小松崎** 計画では、観光振興の課題として、効果的な情報発信・誘客促進・観光消費額の増加・二次交通の確保等を挙げている。これらの課題解決に向けてどのように取り組んでいくのか伺う。

**A** 各主体が協働で取り組むことが重要

**経済振興部長** 計画を推進するに当たっては、市民、観光関連事業者、観光関連団体、行政の役割を明確にし、それぞれが主体的、総合的に取り組み、さらに協働することにより効率的で効果的な事業展開を目指す。

## Q 子どもを支える地域組織のあり方について

**小松崎** 子どもの教育環境において、公民館や子ども会育成会の現状を市がどのように考えているのか伺う。

**A** 多面的な検討対策が必要

**教育長** 公民館については、持続可能な地域づくりにつながる活動のあり方について、運営体制を含めて検討していきたい。

**教育部長** 子ども会育成会については、役員の不足、活動の担い手不足、保護者の負担増等により活動を継続していくのが難しい状況。自治会加入率の低下にもつながることから、子ども会関係者に限らず、多面的な対策が必要である。

【こんな質問もありました】

①熱中症対策について

②家庭教育教育について

# ここが知りたい！ 一般質問

**Q** 歴史資料館建設による住民サービスや福祉への影響は

**立原**

歴史資料館は必要だと思っているが、18億円という金額は厳しいのではないかと。住民サービス、福祉に影響が出てくる心配があると思うが、どのように考えているのか。市民の皆さんが理解するかどうかが問題である。また、市民の納得を得られて、財政負担が少なく、将来に評価されるようなものができるかどうか、市長の手腕ではないか。

**A** 市民サービスの低下を招かないよう予算編成に努める

**政策企画部長**

事業の選択と集中、年度間の平準化を図りながら、



私たちは ひろいち  
**立原 弘一** 議員

(発言時間= 90分)



市民サービスの低下を招かないような予算編成に努めていく。

**市長**

市の財政状況を勘案し、慎重な検討・議論が必要な部分もある。観光の部分やインバウンドも考慮し、複合的な機能を持たせることで、施設の利用価値も高まるものと考えている。

**Q** 第三次救急医療施設の実現と、医師不足解消を

**立原**

第三次救急医療施設の実現と、医師不足解消のためには何が必要なのかというのを鹿行5市の市長、県知事交えて真剣に議論を進めていただきたいと思うがいかがか。

**A** 鹿行5市で国・県に要望を行っていく

**市長**

鹿行5市で連携をしながら、国・県に対し、地域医療のさらなる充実に関する要望を行っていくとともに、市内医療機関に対する積極的なバックアップをしながらはいけないと思っている。市民が安全で安心に暮らせるよう誠心誠意取り組んでいく。

**Q** 格差に苦しむ市民への対応は

**立原**

格差に苦しむ市民が、所得税の滞納に至ったときに、その方の立場に立ち、血の通った自治体として、どういうふうに対応していくのか伺う。

**A** 事情に応じ適切な対応をしている

**総務部長**

何らかの事情により、市税が滞納となった方には、納税相談において、滞納となった原因や現在の就業状況、家族構成など生活実態の把握に努め、個々の事情に応じて、行政の支援が必要な方には関係部署と連携して適切な対応を行っている。

【こんな質問もありました】

①国民健康保険税について

②公共交通について

—鹿嶋っ子の夢、  
応援しています—

# きかせて！ あなたの夢



鉢形小学校6年生  
鈴木優花さん

私は、保育園や幼稚園の先生になって小さな子供たちと一緒に歌を歌ったり、踊ったり、子供たちの笑顔を見ながら働きたいという夢を持っています。

もともと小さな子供が好きということもありますが、きっかけは、私が保育園に通っていた時、朝の会等で先生のオルガンに合わせてみんなで歌ったことがとても楽しく感じたことからでした。また、最近は先生の人数が不足気味ということなので、その力にもなりたいと思ったからです。

ただ、先生になるためには勉強はもちろん、音楽や運動、図工なども頑張らなければいけません。そのためピアノ教室にも通って頑張っています。これからも子供たちから好かれる先生になれるよう努力していきたいです。

鹿嶋市には保育園や幼稚園に入れない子も少しいるという話を聞いたことがあります。早く全員が入れるようになればいいなと思います。

緊張しながらも、しっかりと夢について話してくれた優花さん。夢の実現に向かって頑張ってください！（小池 舂井）

## 議 会 T O P I C S

### 「きかせて！あなたの声」 意見交換会開催のお知らせ

今年度新たに、市民の皆様と市議会広報広聴委員会が、かしまでの出産・子育てをテーマに意見を交換し合い、この鹿嶋市がもっと住みよい街になるよう、意見交換会を実施します。申し込みは不要ですので、ご家族、ご友人をお誘いあわせの上、お子様連れでも構いませんので、お気軽にご来場ください。

開催日▶ 8月23日(金)  
18時30分から20時00分(予定)

会 場▶ 鹿島地区：波野公民館会議室  
大野地区：はまなす公民館会議室

テーマ▶ 「かしまでの出産・子育て」について

### 「議会報告会」開催決定！

開催日▶ 11月10日(日)

会 場▶ 鹿島地区：鹿嶋市役所3階会議室  
大野地区：大野ふれあいセンター  
2階会議室



※時間等詳細については、次号(11/1発行号)のとびらや広報かしまでお知らせします。

### 編集後記

舂井明宏

今回、鉢形小学校にお邪魔させていただきました。運動会前の練習で忙しい最中にもかかわらず、快くインタビューに応じていただいた鈴木優花さん、学校関係者の皆さん、ありがとうございました。

夢に向かって頑張っている優花さんや、廊下で会った生徒さんたちの元気な挨拶、お掃除を一生懸命に行う姿勢など、私自身見習うべき点を多く発見することができ、とてもいい時間となりました。重ねて感謝申し上げます。

### ◆ 広報広聴委員会

委員長	小池 みよ子
副委員長	樋口 富士男
委員	菅谷 宏毅
委員	川井 宏子
委員	小松崎 敏紀
委員	笹沼 康弘
委員	舂井 明宏